

- 社長メッセージ
- 第3四半期おもなヒット作品
- トピックス
- 製作の現場から
- この春の注目コンテンツ
- 決算のご報告
- プレゼントのお知らせ

東日本大震災で被災された皆さまへのお見舞いと 角川グループとしての支援について



東日本大震災により被害を受けられた皆さまにお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方のご冥福をお祈りし、ご遺族の皆さまにお悔やみを申し上げます。いまだ行方が知れない親族を心配しながら、家屋を失い、非常に厳しい生活環境の中で飢えや寒さを凌いでいる被災者の皆さまの心中を察すると胸が締め付けられる思いがします。

今回の震災後、私たち角川グループは何ができるかについて検討した結果、会社として義援金を寄付すること、そして小学校や中学校などの教育現場に書籍を寄贈することを決めました。また別途、角川グループ各社の役員や従業員から義援金を募っており、こちらもまとも次第、被災地に寄付させていただく予定です。

今尚、衣食住や安全面で予断を許さない不安と緊張の日々が続いており、復興への道のりは長く厳しいものとなることが予想されます。しかし私たちは引き続き、被災された皆さまの心のケアのために私たちができることを、全力で実施していきたいと思っております。株主の皆さまにも是非ともご理解いただきたく、よろしく申し上げます。

出版と映像の相乗効果の向上と ゲーム事業の拡大によるグループ成長戦略

【角川書店と角川映画の合併】

—新生・角川書店—

2011年1月1日、4件の合併が実施されました。なかでも角川書店と角川映画の合併（現・角川書店）は、グループを代表する二大ブランドの大型合併であり、多くの方々の注目を集めました。出版会社と映画会社の合併がなぜ必要であったのかについてご説明したいと思います。

「犬神家の一族」（1976年）を皮切りにスタートした角川映画は、時代を代表する作家の原作小説を映画化することで数々のヒット作を生んできました。映画と原作本を連動させたビジネスモデルは「読んでから見るか、見てから読むか」の言葉に象徴され、角川グループはメディアミックスの先駆けとなりました。

そして今なお、ヒット映画の大半が原作ものであることを考えると、出版と映像の相乗効果を狙ったビジネスモデルはますます有効であることが分かります。われわれは国内有数のコンテンツホルダーであり、出版と映像の両方を抱えるユニークな企業体です。われわれの特徴である出版と映像の歯車がうまく噛み合うと、より大きな収益形態を構築できます。映画製作において出版社から得られ

るメリットは多くあります。原作のストーリーや読者、マーケットを熟知し、原作作家との円滑なコミュニケーションに長けているのは、編集者であるという事実です。このような出版社の強みをフルに映像事業に取り込み、真の映像事業の強化を図るために合併という手段を選択しました。ただし合併後も「角川映画」のブランドは残ります。2011年2月15日、角川映画ラインナップ発表会が行なわれました。その中で角川原作である注目作品がいくつも紹介され、合併の効果を早速感じることができました。またライトノベルやコミックの劇場版アニメが今後のラインナップに含まれるなど、これまでの角川映画とは違った変化も見られます。新生・角川書店がスタートしましたが、出版と映像の歯車が上手にかみ合った事業展開をご覧いただけるように努めてまいります。

【ゲーム事業の拡大展開】

メガソフトウェアパブリッシャーを標榜する当社にとって、ゲームはとても重要なメディアであり、開拓の余地が随所に見られる魅力あるジャンルであると考えています。角川グループはなかでも、3つのジャンルに軸足を置き、ゲーム開発に注力したいと考えていま

す。まず「出版社のメディアミックスから生まれるゲームソフト」であり、次に「新機軸ソーシャルゲーム」、そして「海外でも通用するミリオンが狙えるゲームソフト」です。

①「出版社のメディアミックスから生まれるゲームソフト」

これまでも角川グループの出版各社でゲームソフト制作が行なわれてきました。それは主に既存コンテンツの人気キャラクターを活用した内容のゲームソフトです。メディアミックスの一環として制作されているため、コンテンツのファン層をターゲットとした収益性の高い事業となっています。当然今後も続けていきます。

②「新機軸ソーシャルゲーム」

「バカとテストと召喚獣」は、2010年1月にテレビアニメがスタートし、大ヒットを記録したライトノベルです。テレビアニメ化に合わせて、mixiアプリ「バカとテストと召喚獣」のサービスを開始したところ、非常に人気を集め、課金サービスも成功しました。メディアミックスの新機軸としての可能性も高く、今後キャラクターを活用したソーシャルゲームを積極的に展開していきます。

③「海外でも通用するミリオンが狙えるゲームソフト」

2009年4月、角川ゲームスの設立によって、本格派ゲームソフトの開発がスタートしました。そして2011年1月20日、「角川ゲームス カンファレンス 2011 KICKOFF」を開催し、角川ゲームス初のオリジナルゲーム「天空の機士ロデア」を含め、任天堂Wii/3DS向けの新作3タイトルを発表しました。ゲーム業界やマスコミ関係者など多くの方々に出席いただき、われわれへの期待と注目の高さを実感しました。今回のカンファレンスでは、いよいよ海外市場もターゲットにしたゲームソフトの紹介ができる予定です。またグループ出版各社で制作されるゲームソフトの販売を角川ゲームスに集約しました。角川ゲームスはゲーム制作のプロデューサーとゲームソフトのパブリッシャーとしての役割を果たすことになりました。角川グループのコンテンツを世界に広めたい、ということが私の夢であります。そのひとつが、ゲームソフトによる世界展開です。もちろん出版物の海外展開においても、台湾、香港そして中国本土へと拠点を拡大しています。持続的な成長を目指し、角川グループはめまぐるしく変化しています。今後とも株主の皆さまのご支援・ご協力を賜わりたく、よろしく申し上げます。

第3四半期おもなヒット作品

DVD/BD

「涼宮ハルヒ」シリーズDVD/BD販売絶好調!!

2010年11月発売の「涼宮ハルヒの憂鬱」BD-BOXおよび12月発売の「涼宮ハルヒの消失」DVD/BD販売が非常に好調で、第3四半期の映像事業の業績を牽引しました。事前予約段階から注文が殺到し、「涼宮ハルヒ」シリーズの人気の高さが改めて証明されました。

ライトノベル/コミックス

メディアミックス展開の成功。10月スタートのテレビアニメ作品「俺の妹がこんなに可愛いわけがない」「とある魔術の禁書目録」

2010年10月に放送開始となったテレビアニメ作品「俺の妹がこんなに可愛いわけがない」「とある魔術の禁書目録」の原作・関連作品の販売が好調でした。両作品の販売部数は10月～12月の3か月間だけで、原作・関連書籍を合わせて、それぞれ100万部を突破しました。

注目集まる1月スタートのテレビアニメ作品。放送前から原作本が好調な滑り出し「GOSICK」「これはゾンビですか?」「放浪息子」

2011年1月から始まるテレビアニメは「GOSICK」「これはゾンビですか?」「放浪息子」の3作品。そのいずれもが放送開始を前に原作本・関連書籍の販売が好調で、テレビアニメ化に対するファンの期待の高さが窺われました。

コミックス

コミック販売を牽引!! グループ横断のコミックフェア「角★コミ」

グループ横断のコミックフェア「角★コミ」の展開により、コミック販売が順調に伸びました。「よつぱと」や「らき★すた」などの人気シリーズ最新刊に加え、マンガ大賞2010を受賞した「テルマエ・ロマエ」は第2四半期に続き販売好調でした。

攻略本

「モンスターハンターポータブル3rd ルーキーズ・ガイド」

大ヒットゲームソフト「モンスターハンターポータブル3rd」の攻略本「モンスターハンターポータブル3rd ルーキーズ・ガイド」をいち早く販売し好調な売行きとなりました。角川グループのゲーム関連書籍での強みを発揮し、売上に貢献しました。

雑誌/ムック

季節定番の「年賀状」シリーズ、「ラーメンウォーカー」は全国展開開始!!

年末の定番「年賀状」素材集書籍が昨年に続き販売好調。また昨年より展開を始めた「ラーメンウォーカー」は、今期から36版へと大幅に版を増やしました。全国のラーメン情報を網羅する一大情報誌としてネットと連動しながら、ラーメンファン必見の情報提供を行ないます。

新書/ビジネス

話題沸騰!! 「デフレの正体」「ドロッカー」関連書籍

2010年6月発売の「デフレの正体」はマスコミにも大きく取り上げられ、菅首相も購入との報道でさらに話題を呼び、第3四半期も順調に部数を伸ばし、販売部数が50万部を超えました。またドロッカー関連書籍などビジネス書の販売も好調に推移しました。

TOPICS

DVD/BD売上高20億円!! 5月、原作シリーズ最新刊発売予定 「涼宮ハルヒ」関連作品が続々登場



2010年11月、12月に発売となった、角川書店の人気ライトノベル「涼宮ハルヒ」シリーズのテレビアニメBD-BOX、劇場版DVD/BDの販売が合わせて20億円となる大ヒットとなりました。テレビアニメ「涼宮ハルヒの憂鬱」のBD-BOXは、2006年の1期シリーズと2009年の2期シリーズを合わせた28話分を収録し、2010年11月に発売しました。またその続編「涼宮ハルヒの消失」が2010年2月に劇場公開。少数館上映ながら8億円を超える興業収入をあげ、そのDVD/BDを12月に発売しました。両作品とも発売発表とともに予約が殺到する人気となりました。

また原作シリーズの続編となる「涼宮ハルヒの驚愕」(角川スニーカー文庫)が2011年5月25日に発売となります。

4年ぶりの原作最新刊の発表に、こちらにも予約段階から、大手ネット書店売上ランキングの1位に立ち続け、発売前から大きな盛り上がりを見せています。

今後、ゲームソフト「涼宮ハルヒちゃんの麻雀」(PSP)、そして学習参考書『涼宮ハルヒの憂鬱』で英単語が面白いほど身につく本(中経出版)が発売の予定です。



ゲーム事業拡大。海外展開も視野 「角川ゲームス カンファレンス 2011 KICKOFF」

2011年1月20日、泉ガーデンギャラリーにて「角川ゲームス カンファレンス 2011 KICKOFF」が開催されました。任天堂Wiiや3DS向けの新作3タイトルが紹介され、実際にゲーム制作にあたったゲームクリエイターによって、新作

ゲームの魅力や開発エピソード、さらに実機を使ったゲーム操作や世界観が披露されました。

まず「アースシーカー」が、発売元であるエンターブレインの浜村社長と、ゲームデザインを担当した船水紀孝氏

製作の現場から

2011年NHK大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」関連商品 角川グループ共同展開について



新人物往来社

角川学芸出版

「歴史」につよい新人物往来社と角川学芸出版の編集長に話を聞きました。



新人物往来社
月刊「歴史読本」
編集長 本多秀臣

大河ドラマは毎年、再来年の内容が発表され、その直後から編集と営業でプロジェクトを立ち上げ、1年かけて準備をします。「江」に関する書籍が極端に少ないので、当社の歴史専門雑誌「歴史読本」に蓄積された多くの史跡関連情報を使って「江 史跡紀行」を出版することにしました。また今回の共同展開を機に、角川学芸出版の編集の方と初めてお会いすることができました。同じ歴史に携わるもの同士、意識が大変似ていると思ひ親近感がわきました。今後も交流を続けたいと思います。



角川学芸出版
編集局書籍編集部文庫グループ
編集長 大林哲也

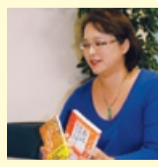
「江」は原作の小説がなく、題材とする本もほとんどありません。幸い角川学芸出版には、ドラマの時代考証を担当される小和田哲男先生の著書を含め、「江」に関する関連書籍が複数ありますので、店頭展開の企画を立ち上げました。また新人物往来社との連携も決まり、共通帯やちらし作成の作業は大変でしたが、大河ドラマ関連書の展開は一年間の長丁場のなかで、各々の本を互いに紹介したりできます。同じ読者を共有できるのではと期待もしています。

販売促進・営業展開について、角川グループパブリッシング・角川出版販売の担当者を交えて話を聞きました。



新人物往来社
取締役営業本部
部長 豊田達也

大河ドラマは毎年、NHKとタッグを組んでムックや関連書を発売しています。前回の「龍馬伝」では多くの関連本を展開しましたが、今回の「江」は一転、点数を絞って、他社との差別化が図れる商品を出そうと編集に提案しました。新人物往来社は今まで、角川グループ内でのコラボ企画の機会が無かったのですが、今回の「江」での連動企画が弾みになったのか、「毎日が発見」とのコラボ企画も新しく立ち上がり、グループ間連動の拡がりを感じます。



角川グループパブリッシング*1
書籍販売部書籍グループ
金子泰子

角川学芸出版から店頭展開の話を聞き、アスキー・メディアワークスからも新書が出ているので、併せて販売上位店や「江」ゆかりの地・滋賀県下の書店さまに並列展示する準備をしていました。そこに角川学芸出版から「新人物往来社でも関連本が出る」との情報をいただき、早速連絡をして打ち合わせを行いました。そして、進行中の展開に加わっていただき、連動企画として店頭での並列販売や、共通帯やちらしの挟みこみの話が決まりました。



角川出版販売*2
営業部第1グループ
村田篤郎

大河ドラマの関連本は書店さまの期待も高い商品です。特に主人公の地元でよく売れることがわかっていまして、角川グループパブリッシングとの打合せでも、全国的な書店だけでなく、是非ゆかりの地である滋賀でも展開するようお願いしました。店頭の大河ドラマコーナーは売場確保の激戦区です。今年は他社に先んじて動くことができ、しかもグループ内に多くのアイテムが揃っていたので、私たちの提案の幅も拡がり、良かったと思います。

*1.角川グループパブリッシングは角川グループ出版物の営業・物流・販売などを業務としています。 *2.角川出版販売は書店への営業活動を主な業務としています。

(クラフト&マイスター取締役)によって紹介されました。冒険あり戦いあり、RPG(ロールプレイングゲーム)ならではの世界観を実際にゲームを行いな

ながら紹介しました。続いて角川ゲームスのオリジナルゲームとして初の発表となった「天空の機士ロデア」は、プロデューサーの長谷川氏(角川ゲームス)とエグゼクティブディレクターの中裕司氏(プロペ代表取締役社長)が登壇し説明。会場のスクリーンに大きく映し出された実際のゲーム画面を参加者に見てもらいながら、直感的な操作で「大空を飛び回る」楽しさやストーリーの魅力が紹介されました。



「天空の機士ロデア」Wii/3DS
発売・制作：角川ゲームス

また角川ゲームスの安田社長とグラスホッパー・マニファクチュア代表取締役・須田剛一氏のトークセッションでは、角川ゲームスの戦略や今後の展望が語られました。

そして最後に任天堂代表取締役専務の波多野信治氏に登壇いただき、「独創的で新しい取り組みで、ゲーム事業に取り組まれる会社には、今後も協力を惜しみません」とのエールをいただき、カンファレンスは締めくくられました。

今年春には第2弾となるカンファレンスの開催が予定されています。そこでは世界展開を視野に入れたゲームソフトの発表も行う予定です。



「アースシューター」Wii
発売元：角川ゲームス
制作・著作：エンターブレイン



「FISH ON!」3DS
発売元：アスキー・メディアワークス
販売元：角川ゲームス

新生・角川書店による「角川映画ラインナップ2011-2012」

2011年1月に角川書店と角川映画が合併し、新生・角川書店として初のラインナップ発表会が2月15日、角川シネマ有楽町で行なわれました。

まず角川書店の井上伸一郎社長が「角川グループの小説、コミック、テレビ

アニメから旬の作品を旬の時期に映画化し、メディアミックスで最高のパフォーマンスを実現する映画会社として生まれ変わりました」と挨拶。続いて映像部門を統括する椎名保専務が「映画のヒットのバロメーターである、興

行収入10億円を超える作品を、1本でも多く出していきたい」とその意気込みを語りました。

発表会では、2011年から2012年にかけて公開予定の16作品を紹介。なかでも、大ヒット作品「リング」を新たに「貞子3D(仮)」として製作することや、本屋大賞2010受賞作品「天地明察」を「おくりびと」の滝田洋二郎監督で映画化することが発表されると、会場にどよめきが起きました。

映像での作品紹介の後、映画企画本部の池田宏之本部長によって、世界屈指のクリエイターが結集して手がけるオリジナル劇場長編アニメ「ももへの

手紙」、および2011年角川映画最大の大作「源氏物語」が紹介されました。

角川グループが原作・関連書籍をもつ作品が次々と映画化され、さらにアニメ作品が本格的にラインナップに加わったことで、角川映画の個性が際立った発表会となりました。



電子書籍とソーシャルアプリで角川グループとグリーが提携

角川グループと国内最大級のソーシャルコミュニティサイトを運営するグリーは2011年2月24日、業務提携の発表をランドハイアット東京にて行ないました。

角川グループが保有するコンテンツをグリーが運営する「GREE Platform」に提供し、ソーシャル性を活かしたこれまでにない新たなサービス提供を行ないます。また2,383万人の会員(2010年12月末現在)を抱えるグリーとのユーザー同士の相互送客を目指していきます。サービス開始は2011年夏ごろの予定です。

提携発表では、当社の電子書籍プラットフォーム「BOOK☆WALKER」で購入した電子書籍を「GREE Platform」

で友だちと紹介し合ったり、購入履歴となる本棚や自分の書評を友だちと共有できたり、書籍をプレゼントしたり、ソーシャル性を活かしたサービスのアイデアも紹介しました。またソーシャルアプリでは、「GOSICK」が同年2月25日にサービスを開始し、今後、「涼宮ハルヒの憂鬱」「源氏物語」といったコンテンツ活用型のソーシャルアプリが順次サービス開始となります。

2010年10月のドワンゴとの提携に続き、今回が2件目となるSNSとの提携によって、角川グループならではの電子書籍サービスやソーシャルアプリの連携など、付加価値の高いさらなるサービスの提供を実現してまいります。

この春の注目コンテンツ



書籍

- **涼宮ハルヒの驚愕 上・下 (角川スニーカー文庫) 著/谷川流**
ファン待望の「涼宮ハルヒ」シリーズ最新刊の初回限定版が5月25日に発売!! その人気は日本のみならず海外にも広がっています。そこで翻訳版を中国・香港・台湾・韓国など海外でも同時発売の予定です。※通常版は6月15日に発売。
- **県庁おもてなし課 (角川書店) 著/有川浩**
とある県庁に突如生まれた新部署「おもてなし課」。観光立県を目指すべく、若手職員の掛水は、振興企画の一環として、地元出身の人気作家に観光特使就任を打診するが…。史上初! 恋する観光小説の誕生です!



劇場映画

- **漫才ギャング 3月19日公開**
初メガホン「ドロップ」での大成功をひっさげて挑む品川ヒロシ監督第2弾は「漫才」がテーマに! コンビ解散でやけになった漫才師が留置所で運命の出会いを果たす。一緒になった荒くれ者はつっこみの天才だった!! 原作:「漫才ギャング」(リトルモア) 著/品川ヒロシ
- **軽蔑 6月4日公開予定**
芥川賞作家・中上健次の生前最後の長編小説「軽蔑」を映画化。公開に先立って、3月には原作小説を角川文庫から発売。ギャングに溺れる金持ち息子とポールダンサーの女の愛を詳細な描写で描いた作品。原作:「軽蔑」(角川文庫) 著/中上健次
- **劇場版 そらのおとしもの 時計じかけの哀女神 6月25日公開予定**
新生・角川書店第一弾の劇場版アニメ作品。平和をモットーとする少年と空から落ちてきた未確認生物(エンジェロイド)がくりひろげるハチャメチャでハートウォーミングなコメディです。原作:「そらのおとしもの」(角川コミックス・エース) 著/水無月う



4月スタートのテレビアニメ作品

- **デッドマン・ワンダーランド**
月刊少年エース連載中のクールでシリアスな物語。無実の罪で死刑判決を受けた少年が送られたのは「デッドマン・ワンダーランド」と呼ばれる私設刑務所。少年の復讐と生き残りをかけた戦いが始まる。原作:「デッドマン・ワンダーランド」(角川コミックス・エース) 著/片岡人生、近藤一馬
- **日常**
少女ロボットなど変わったキャラクターの登場や摩訶不思議な出来事に翻弄される非日常的な日常を描いたシュールでポップなストーリーを描いた漫画が原作です。女子高生たちの奇抜な発想と発言にもご注目ください。原作:「日常」(角川コミックス・エース) 著/あらゐけいいち
- **世界一初恋**
多くの女性読者の支持を受け、数々のヒット作を生み出したボーイズラブの巨匠・中村春菊。美しい男性たちの恋を描く次なる舞台は、なんと出版社!? 丸川書店の少女漫画編集部で繰り広げられる純愛ロマンス。原作:「世界一初恋」(あすかコミックスCL-DX) 著/中村春菊
- **電波女と青春男**
家庭の事情で叔母の家で都会暮らしをすることになった主人公は、女子との甘酸っぱい高校生活の期待に胸を膨らませます。が、下宿先には期待を脅かす不安分子、自称「宇宙人」の電波な従妹がいた!! 原作:「電波女と青春男」(電撃文庫) 著/入間人間
- **アスタロットのおもちゃ!**
23歳にして10歳の娘がいる男が就職活動中、謎の女に連れてこられたのが妖魔の国「ユグヴァルランド」!? 男は謎の女から王女アスタロットの後宮入りを命じられ、後宮(候補)としての仕事が始まる。原作:「ロッセのおもちゃ!」(電撃コミックス) 著/葉賀ユイ

決算のご報告(第3四半期)

■ 定性情報

当第3四半期(累計)の業績は、連結売上高104,401百万円(前年同期99,014百万円)、営業利益5,383百万円(前年同期2,874百万円)、四半期純利益12百万円(前年同期54百万円)となりました。DVD/BD販売が非常に好調だったことに加え、ライトノベルやコミックのメディアミックス作品、ビジネス書、新書等の重版出荷が好調だったことが利益を押し上げました。四半期純利益が12百万円にとどまったのは、第1四半期に当社が保有する一部の

投資有価証券評価損2,267百万円を特別損失として計上したことが主な理由です。今回の業績好調を反映し、営業利益、当期純利益の業績予想の修正を次のとおり行ないました(売上高は修正せず136,000百万円)。営業利益6,400百万円(修正前5,700百万円)、当期純利益2,300百万円(修正前2,000百万円)へとそれぞれ上方に修正しました。

■ セグメント情報(要約)

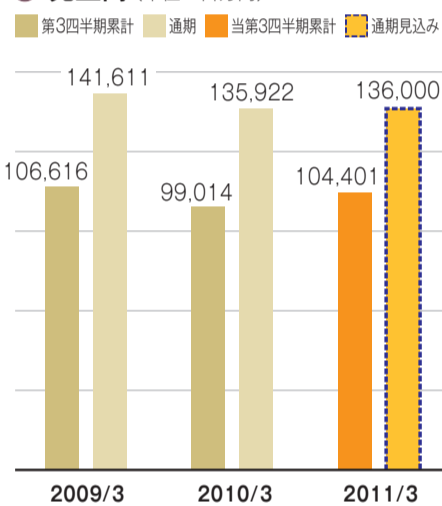
当第3四半期連結累計期間(自2010年4月1日 至2010年12月31日)
 ※IR・財務情報等はホームページにおいて閲覧できます。http://www.kadokawa-hd.co.jp/ (単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益計算書 計上額(注)2
	出版事業	映像事業	クロスメディア事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	68,329	23,401	12,670	104,401	—	104,401
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,774	1,580	8,164	14,519	△14,519	—
計	73,103	24,981	20,835	118,920	△14,519	104,401
セグメント利益又は損失(△)	6,769	△530	△128	6,111	△727	5,383

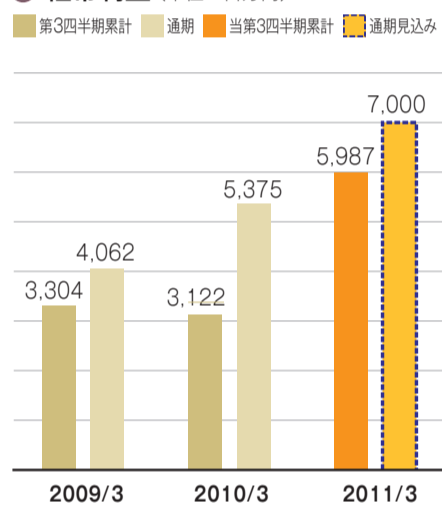
●当社グループは、「出版事業」「映像事業」及び「クロスメディア事業」の3つを報告セグメントとしております。「出版事業」は、出版物の編集、製作、販売、物流等を行っております。「映像事業」は、映画の製作、輸入、配給、興行並びにDVDソフトの製作、販売等を行っております。「クロスメディア事業」は、生活・情報系雑誌の編集、製作、販売並びにデジタルコンテンツの制作、販売等を行っております。
 (注)1.セグメント利益又は損失(△)の調整額△727百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△708百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 2.セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

■ 業績の推移

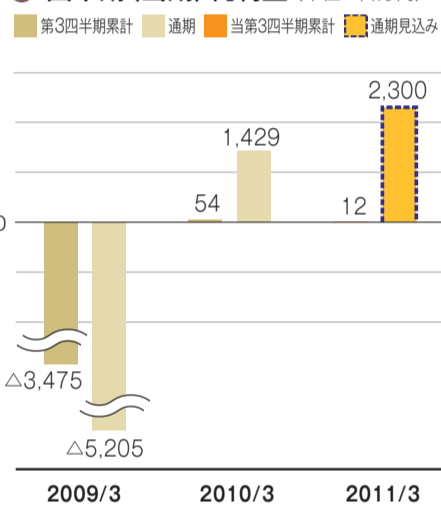
● 売上高(単位:百万円)



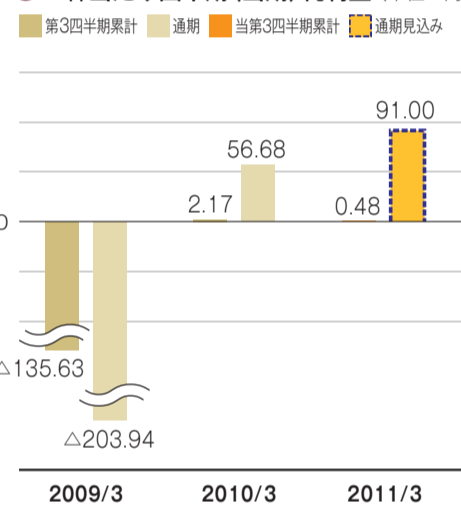
● 経常利益(単位:百万円)



● 四半期(当期)純利益(単位:百万円)



● 1株当たり四半期(当期)純利益(単位:円)



Q&A コーナー

【株主さまからのご質問】

角川通信Vol.24では、数多くのご質問やご声援をいただき、ありがとうございました。今回、寄せられたご質問の中から以下のご質問にお答えしたいと思います。

ご質問:出版不況の中、角川の出版事業が好調な理由を教えてください。

角川グループの出版事業は堅調に推移しています。なかでも、テレビアニメ化された原作本である、ライトノベルやコミックの販売が好調です。コミックは8年連続(今期9年目)で売上を伸ばしています。旬で新しい作品を次々としていることが安定したメディアミックス展開を支えています。優秀な新人作家が次々と生まれ、メディアミックスに長けた編集者が数多くいることが、安定した作品供給につながっています。角川グループ主催のライトノベルやコミックの各種新人賞の人気は群を抜いており、その中から毎年数十名の優秀な新人作家を発掘しています。新しい作品が生まれ、育ち、メディアミックスで飛躍するといったスパイラルがうまく機能し、出版事業の好調を支える当社の強みとなっています。

プレゼントの お知らせ

今回の読者プレゼントは、「『涼宮ハルヒの憂鬱』で英単語が面白いほど身につく本 上・下」をセットで10名様にプレゼントします。

角川書店の人気小説「涼宮ハルヒの憂鬱」が中経出版とのコラボレーション企画による学習参考書として登場。

ご希望の方は、角川通信のご感想や経営に関するご質問とともに、お名前とご住所をご記入のうえ応募ください。

プレゼント
**『涼宮ハルヒの憂鬱』で
英単語が面白いほど身につく本 上・下**
10名様

あて先

〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3
株式会社角川グループホールディングス
IR・広報室「プレゼント」係

●応募締切り 2011年5月8日(消印有効)

発表は発送をもって代えさせていただきます。なお、取得した個人情報は当選者の方に商品を発送するためだけに使用し、他の目的では使用いたしません。

■ 会社役員

取締役 会長	角川 歴彦
代表取締役 社長	佐藤 辰男
常務取締役	井上 伸一郎
取締役	福田 全孝
取締役	関谷 幸一
取締役	椎名 保雄
取締役	谷口 常雄
取締役	山口 貴明
取締役	高山 康樹
取締役	松原 眞夫
社外取締役	清水 英夫
社外取締役	久尋 良木
社外取締役	船津 康次
常勤監査役	江川 武真
常勤監査役	水島 眞靖
社外監査役	池田 靖顯
社外監査役	渡邊 顯

■ 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月中

定時株主総会の基準日 3月31日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)

上場証券取引所 東京証券取引所

公告の方法 電子公告

公告掲載URL <http://www.kadokawa-hd.co.jp/>
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
 アクセスコード **9477**

いいかぶ

検索

Yahoo!, MSN, exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

空メールによりURL自動返信
 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

ご回答いただいた方の中から抽選で当選(図書カード500円)をプレゼントさせていただきます

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ
 TEL: 03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)
 「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com

角川グループホールディングスのホームページはIR・財務情報に加え、皆さまに角川グループの事業内容をより深くご理解いただけるよう、グループ各社の最新情報や話題、事業展開などを掲載しております。ぜひご覧くださいませようお願い申し上げます。

http://www.kadokawa-hd.co.jp/

角川グループホールディングス

KADOKAWA GROUP HOLDINGS, INC.
 株式会社 角川グループホールディングス
 〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3
 電話 03-3238-8411